

基本目標2 地球温暖化対策の推進



①省エネルギー対策の推進

市民、事業者の省エネルギー行動は定着しつつありますが、更なるエネルギー消費量の削減のため、市の率先行動や積極的な情報提供などにより省エネルギー行動を一層普及させるとともに、省エネルギー型機器の普及を促進します。

②再生可能エネルギーの普及促進

公共施設に再生可能エネルギーを率先的に導入するとともに、その効果や導入事例の情報提供などにより普及を促進します。

③気候変動への適応

地球温暖化対策には、温室効果ガスの排出量を低減する「緩和策」に加えて、現在及び将来予測される気候変動の影響に対処するための「適応策」が求められます。熱中症や豪雨などの災害への対策を進めるほか、懸念される影響などの情報収集と周知に努めます。

④交通対策の推進

本市では、移動手段として自動車に依存する傾向があります。短期的にはエコカーの導入やエコドライブの普及を加速させ、長期的にはまちづくり、観光振興、福祉施策と連携し、持続可能な公共交通ネットワークを形成していきます。

環境 テーマ	指 標	基準値 平成30年度	目指す 方向	進 捗 状 況			達 成
				令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
① 省エネルギー対策の推進	公共施設のエネルギー消費量(原油換算)	13,179kL	↘	11,754kL	11,652kL	10,204kL	
	公共施設への省エネルギー型機器の導入件数(累計)	64 施設	↗	119 施設	147 施設	179 施設	
	日頃から省エネルギーを意識した行動を実践している市民の割合	71.6%	↗	—	70.1%	67.0%	
	市内温室効果ガス排出量	2,205 千 t-CO ₂ (平成 28 年度)	1,805 千 t-CO ₂	1,865 千 t-CO ₂ (令和 2 年度)	2,043 千 t-CO ₂ (令和 3 年度)	1,838 千 t-CO ₂ (令和 4 年度)	

環境 テーマ	指 標	基準値 平成30年度	目指す 方向	進 捗 状 況			達 成
				令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
② 再生可能 エネルギーの 普及促進	地球温暖化対策設備※の設置補助件数 (累計)	—	↗	854 件	1,094 件	1,278 件	
④ 交通 対策の推進	こまき巡回バスの1日 平均利用者数	2,039 人/日	↗	2,088 人/日	2,269 人/日	2,382 人/日	
	公共交通機関の1日 平均利用者数	44,094 人/日	↗	39,247 人/日	41,339 人/日	42,094 人/日	
	週1回以上公共交通 機関を利用している 市民の割合	18.2%	↗	—%	16.6%	16.3%	
	通学路歩道整備率	49.9%	↗	50.4%	50.6%	50.7%	

※地球温暖化対策設備:本市が設置費を補助する設備は、太陽光発電設備・HEMS・蓄電池・燃料電池・V2H・高性能外皮等がある。

環境家計簿(エコライフチェックシート)の普及

①省エネルギー対策の推進

【 施策説明 】

二酸化炭素を排出する日常の行動について、どれだけ意識して環境にやさしい生活を送れたのか項目の数をチェックし、1日における二酸化炭素の排出量の削減につなげる。

●取組・実績

市内小学4・5年生、中学1・2年生に協力依頼し、エコライフチェックシートを用いた自己診断を実施

※小学生:2,185人(一人あたり536g/日のCO₂削減量)

中学生:2,132人(一人あたり520g/日のCO₂削減量)



(エコライフチェックシート)

再生可能エネルギー導入に係る補助金や関連情報の提供

②再生可能エネルギーの普及促進

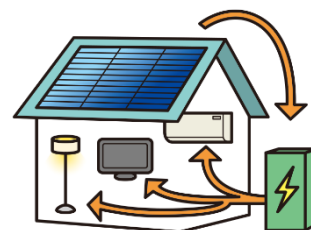
【 施策説明 】

設備導入につながる補助金や関連の情報をホームページや広報等を活用して広く提供する。

自宅に住宅用地球温暖化対策設備(太陽光発電設備、HEMS、蓄電池、燃料電池、V2H、高性能外皮等)を設置する方に設置費の一部を補助することにより、市民の設備導入を促進する。

●取組・実績

住宅用地球温暖化対策設備設置費補助事業を実施した(184件補助金交付)。



【 施策説明 】

熱中症の症状や自身で取り組める予防対策を周知する。
また、熱中症対策の強化のため、熱中症対策の整理及び取組の充実を図る。

●取組・実績

- ・ホームページ等に熱中症に関する記事を掲載するとともに、高齢者を対象としたチラシを作成し、サロン連絡会等で配布及び市内公共施設に設置した。
- ・保健連絡員活動や大腸がん検診、保育士対象研修会の際に、熱中症の周知啓発を実施した。
- ・「指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）」として、市内 6 地区にある公共施設（小牧市役所本庁舎、味岡・東部・北里の各市民センター、南部・西部の各コミュニティセンター）と民間施設 1 カ所の合計 7 カ所を指定した。
- ・「涼み処」として、公共施設 16 カ所、民間事業所 29 カ所を提供した。
- ・こどもたちの登下校時における一時的な避暑地として、12 カ所の民間事業所を「こども涼み処」として提供した。



(涼み処のロゴマーク)

自動運転実証調査事業

④交通対策の推進

【 施策説明 】

こまき巡回バス「こまくる」のサービス水準維持に向け、懸念される路線バスの運転手不足に対応するため、自動運転の導入の検証を行う。

●取組・実績

令和 7 年 1 月 25 日から 2 月 14 日までの 21 日間、桃花台外縁道路を周遊するルートで電気自動車を使用して実証調査を実施した（延べ 2, 138 人利用）。



(自動運転車両)

その他の取組

テーマ	事業	内容
①省エネルギー対策の推進	公共施設エネルギー消費量抑制	環境マネジメントシステムの運用による省資源、省エネルギーなどにより、公共施設で使われるエネルギー量を削減する。 ➤ クールビズ、ウォームビズ、ノーカーデーを実施した。 ➤ 環境配慮行動チェックリストを用いて、各職員が省エネ行動について達成度を自己チェックした。
	公共施設への省エネルギー型機器の率先導入	LED 照明をはじめとした省エネルギー型機器の導入に努める。 ➤ 令和 5 年度に引き続き、市内 27 の公共施設の照明設備を LED 化した。
	中小企業向け省エネ設備等の導入支援	省エネルギー設備等を導入する中小企業に対して経費の一部を補助することにより、省エネルギー対策の推進を図る。 ➤ LED 照明器具等に対して補助金を交付した（8 件補助金交付）。

テーマ	事業	内容
② 再生可能エネルギーの普及促進	公共施設への再生可能エネルギーの率先導入	公共施設のエネルギー消費量及び温室効果ガス排出量の削減のため、太陽光発電設備などの再生可能エネルギーを導入する。 ➤ 防災拠点における必要電力日数等について整理した（50施設に太陽光発電設備を導入済み）。
③ 気候変動への適応	集中豪雨・洪水への対策推進	台風や洪水による被害を軽減し、市民の生命と財産を保全するため、主体的に災害時の防災・減災情報入手する市民を増やすとともに、災害時に迅速に対応できる体制を強化する。 ➤ 水防訓練を実施した（1回）。 ➤ 風水害図上訓練の実施した（1回）。 ➤ ホームページ等を更新した（随時）。
④ 交通対策の推進	こまき巡回バス事業の改善検討	より多くの方にこまき巡回バスを利用してもらうために、利便性を高める。 ➤ 地域懇談会やパブリックコメントを実施し、令和8年度こまき巡回バス再編に係る基本方針・ルート（案）を策定した。 ➤ ルート（案）の作成にあたり、地元区、関係機関等と調整を行い、小牧市地域公共交通会議で協議を実施した。
	自転車歩行者空間のネットワーク形成	歩車道の分離や歩道の段差解消など人にやさしい道路を整備する。 ➤ 歩道設置事業として4路線 L=503mを整備した。 ➤ 自転車ネットワーク計画（案）の検討を進めた。
	主要施設における自転車等駐車場の充実	自転車等駐車場の適正な維持管理に努め、快適な自転車の利用環境を整える。 ➤ 市内11カ所に設置されている自転車等駐車場の維持管理に努めた。 ➤ 各自転車等駐車場の利用状況の把握に努めた。
	エコドライブ手法の普及啓発	市民の車の運転時における環境意識向上のため、エコドライブに関して普及啓発を行う。 ➤ ホームページにエコドライブ10のすすめ（ふんわりスタート、エンジンプレーキの活用等）を掲載した。

評価

こまき巡回バスの1日平均利用者数は年々増加しており、引き続きこまき巡回バスをはじめとした公共交通の利便性の向上を図るとともに、今後、深刻となる運転手不足の解消に向けた検討が必要である。

気候変動への適応については、熱中症対策として令和6年度より新たに指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）、涼み処、こども涼み処を設置した。こども涼み処については、環境省から先進事例として紹介もされており、今後も取組の充実を図るとともに熱中症予防とあわせて周知・啓発していく必要がある。